



1. 令和5年中の状況（11月1日現在）【町田消防署管内】

① 火災件数 ⇒⇒ 昨年よりも件数・床面積は減っていますが、亡くなった方は増えています

火災状況	火災件数	傷者	死者	焼損床面積	建物火災件数
	102件 (-8)	14名 (-9)	4名 (+2)	686㎡ (-928)	58件 (-22)

※（ ）は、昨年同時期比

② 救急件数

救急状況	出場件数	救護人員
	18,919件 (+949)	15,644名 (+914)

※（ ）は、昨年同時期比



2. 放火対策を万全に！

令和4年中の東京消防庁管内の火災原因の1位は**放火**（疑いを含む）です。亡くなられた方が発生した住宅火災でも、たばこ、電気ストーブに続いて、**3番目**に多い出火原因です。

これからの時期は空気が乾燥するため、火災が発生しやすくなります。ご自宅の周りを**整頓整頓**して、燃えやすいものを置かないように注意しましょう。



新しい防災訓練を提案します！『**まちかど防災訓練**』をやってみませんか？

防災資器材の取扱要領を訓練したら、より実践的な…次のステップへ！



これまでと違った、**地域のみなさん**が協力して実施する防災訓練です。ぜひご検討ください！



スタンドパイプで消火！放水はじめ！

消火器で消火！

4. 救急車が足りません！

昨年の町田管内は、**2万2014件**

昨年の東京消防庁管内の救急出場件数は、**87万2101件**で、**過去最高**を記録しました。

令和5年11月1日現在においても、東京消防庁管内における救急出場件数は、**前年比で約4万3000件**増加しており、これから感染症などが流行する冬の時期をむかえて、**さらに出場件数の増加が予測**されます。救急車の**適正利用**にご協力ください！



救急車が判断に迷ったら…、ぜひ『東京消防庁救急相談センター』の**#7119**もしくは、**042-521-2323【多摩地区】**をご活用ください。



病院？ 救急車？ 迷ったら…
東京消防庁救急相談センター

#7119

Check!!

住宅用火災警報器の点検方法

本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検できます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



ボタンを押す！



ひもを引く！

※一般的に点検の際の音声等は自動で停止します。

3. 鳴りますか？住宅用火災警報器！

設置から**10年**が経過すると…、電子部品の劣化や電池切れ等により、**火災を感知できなくなってしまう**。いざという時のために備えて…、まずは、**しっかり点検を！**そして、**本体交換も**考えていきましょう！



住宅用火災警報器 交換のおすすめ

10年たったなら、**とりかえろ。**



NEWS

平日の日中のみ

「町田デイトタイム救急隊誕生」

令和5年10月17日、本署に新しく救急隊が**1隊**増えました。

